

意欲のある担い手の農業経営改善

要約

- ・認定農業者や集落営農組織等が制度資金を利用し、経営改善に取り組む際、資金の円滑な償還が可能となるよう、資金利用計画の作成や専門家等の派遣について支援を実施。
- ・意欲ある2つの農産加工グループに対し、商品開発や新規販路開拓を支援。

現状(背景)と課題

- ① 認定農業者等の農業経営改善
 - ・毎年10名程度の認定農業者等が補助事業や制度資金等を活用し、経営を改善。
 - ・資金等利用による設備投資の際、無理のない償還計画となるよう支援が必要。
- ② 農業の6次産業化による新たなビジネスへの取組支援
 - ・多くの加工組織の組織員は、高齢化。
 - ・6次産業化ビジネスに取り組む担い手を育成するため、新たな加工品の開発や販路開拓への支援が必要。

目標

- ① 農業経営改善取組数：8件
- ② 対象組織の売上計：349万円
【H29売上計：249万円】
※対象組織
ようやるでおばちゃんの会
ジョイクラブ

活動内容

- ① 資金利用計画書の作成支援を行い、経営改善を支援。(13件、のべ31回)
 - ・経営改善の取組を支援するため、専門家を派遣。(10件)
専門家の内訳：税理士1名、マーケティング2名、社会保険労務士4名、商品開発3名
- ② 新商品開発にかかる技術指導を実施。(7回)
 - ・商談会等への参加誘導により、新規販路開拓等を支援。(4回)

成果

- ① 認定農業者等の経営改善支援
 - ・相談者13件に対し、経営体育成支援事業や制度資金の活用により、6件が経営を改善。残り7件については、計画の再検討を助言。
 - ・専門家によるアドバイスを受け、10件が経営改善を実施。
- ② 農業の6次産業化による新たなビジネスへの取組支援
 - ・新規商品の開発、新規販路の開拓や適正価格の設定を支援。
R2 新規商品：味間いも旨煮仕上げ、味間いも冷凍コロッケ (ようやるでおばちゃんの会)
低カロリージャム3商品、桑の実、ジャバラジャム (ジョイクラブ)
R2 新規販路：2店舗 (ようやるでおばちゃんの会)
ふるさと納税返礼品 (ジョイクラブ)
 - ・2グループの売上合計は、355万円。(対H29年比143%)



専門家による相談会



新たに開発された加工品

普及活動のポイント

- ・生産者と打ち合せを重ね、無理のない償還計画を検討。
生産者の規模拡大後の経済的負担を軽減。
- ・労務管理や商品開発による経営改善指導に、積極的に専門家の助言を活用。
- ・販売額向上にかかる支援に加え、HACCPによる衛生管理の実施を指導。

対象の変化

- ・補助事業や制度資金の利用により、6件の農家が経営規模を拡大し、所得向上に取り組んだ。
- ・支援対象とした2つの農産物加工グループは、経営改善にかかる意識が向上した。

対象者からのコメント

- ・新規利用計画等の作成等について助言を受け、経営規模を拡大できた。今後、計画が達成できるよう、販売額を増加させたい。
- ・今後も地元産の野菜を活用した新商品の開発や生産の拡大に取り組み、経営改善につなげたい。

これからの活動ビジョン

- 1) 認定農業者等の農業経営改善
 - ・認定農業者等の経営改善のために、事業実施や資金利用にかかる経営指導を行い、資金利用計画等の実現に向け、事後指導を実施。
- 2) 農業の6次産業化による新たなビジネスへの取り組み支援
 - ・組織の売り上げ向上のため、新商品の開発や新規販売先の開拓等に係る支援を継続。
 - ・HACCPの取り組みを推進し、安全な加工品生産を指導。
 - ・指導した2組織の事例をとりまとめ、他組織に情報提供し、経営改善の取り組みを推進。

活動体制

